

児童生徒の学びを支えることばの力

—特別の教育課程化から広げる学びの支援の可能性—

文部科学省は2014年4月より、日本語支援が必要な児童生徒に対する日本語指導を「特別の教育課程」として正規の教育課程に位置付けるものとしました。今回の「特別の教育課程」をきっかけに、子どもの「学び」や「ことばの力」についての考察を深め、学校と地域社会が連携した「学びの支援」を進めていく必要があります。

今回の研修では、子どもの支援に関わるさまざまな立場の方々を対象とし、児童生徒が「学び」を進めていくために必要な「ことばの力」についての各種ワークを行うとともに、支援体制整備に向けての議論を行います。

日時: 2015年6月28日(日)10時～16時30分

会場: 早稲田大学 11号館 703教室 [アクセス・地図](#)

講師: 石井恵理子氏(東京女子大学)

コーディネーター: 宇佐美洋, 岡本能里子(教師研修委員)

対象: JSL 児童生徒に関する仕事・活動・研究をされている方、
外国に繋がる児童生徒に関心のある方々

定員: 50名(先着順)

受講料: 一般 5,000 円/会員 4,000 円/大学院生 3,000 円

内容: 予定のため変更することがあります。

6/15
締切

10:00-12:00	講義:「特別の教育課程」の背景、意義と問題点、 子どもの「ことばの力」とは?
12:00-13:00	昼食休憩(60分)
13:00-16:00	WS:児童生徒の「ことばの力」を捉える多様な視点 ディスカッション:今後の支援体制整備に向けて
16:00-16:30	まとめ、質疑応答

事前課題: 文部科学省ホームページ「CLARINET」に入り、『外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント DLA』の「序章 DLA 開発の背景と目的」と「第1章 DLA の概要」に目を通してきてください。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/003/1345413.htm

～講師からのメッセージ～ 石井恵理子氏(東京女子大学)

ことばの力をどのように把握し、学ぶ力となることばの力をどう育んだらよいか。子どもたちの力は、場や相手など状況によって見え方が違います。

子どもに関わる人々が、それぞれの立場から見えることを共有し、連携をとって支援していくことが不可欠です。「特別の教育課程」化という新たな1歩を契機に、日本語力を把握するための視点や方法を吟味し、これからの可能性を考えたいと思います。



◆申込方法◆

参加申込書を学会ホームページ <http://www.nkg.or.jp/menu-kenshu.htm> からダウンロードして、メール添付またはFAXでお送りください。メール応募の場合、題名は「6月28日研修申込」としてください。申込書が到着次第、折返しメールで受講料の振込先等をご連絡します。締切は6月15日(月)※締切日前でも定員になり次第募集終了。

<注意事項>

申込書を送っても学会からの返信メールが到着しない場合は書類未着の可能性がございますので、必ずご自身の責任においてご確認ください。事務局対応は平日の9～18時です。週末や夜間の対応は翌日以降となります。なお、本募集に関して集めた個人情報は本研修の実施以外の目的には使用いたしません。応募書類は返却しません。

◆申込および問合せ先◆

公益社団法人 日本語教育学会
教師研修委員会事務局
〒101-0065 東京都千代田区西神田
2-4-1 東方学会新館2F
TEL: 03-3262-4291
FAX: 03-5216-7552
E-mail: kyoshikenshu@nkg.or.jp

【日本語教育学会教師研修委員会宛】メール kyoshikenshu@nkg.or.jp FAX 03-5216-7552

「児童生徒の学びを支えることばの力」(2015年6月28日)

参加申込書

氏名	(漢字) (ローマ字)
所属・職名	所属: 職名:
会員種別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 日本語教育学会会員 [No.] <input type="checkbox"/> 大学院生
住所	
電話	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 職場 <input type="checkbox"/> 携帯
FAX	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 職場 <input type="checkbox"/> なし
E-mail 携帯アドレス不可	※連絡の基本はEメールとなりますので、間違いがないかご確認ください。
1. 受講動機を簡単にお書きください。 ※文字数等は問いませんが応募用紙全体がA4, 1枚に収まるようお願いいたします。	
2. 日本語教育経験を簡単にお書きください(機関名, 期間, 対象者, 授業科目等)。 ※日本語教育経験年数()年	
3. 日本語教育にかかわらず, 子どもの教育や支援, その他活動に関わった経験があればお書きください。 (対象児の年齢, 期間, 活動の目的, ご自身の役割など, 具体的に書いていただけるとありがたいです。)	
3. この研修コースを何で知りましたか。該当するものに☑をつけてください。 <input type="checkbox"/> (1)学会からのメール <input type="checkbox"/> (2)その他からのメール() <input type="checkbox"/> (3)学会ホームページ <input type="checkbox"/> (4)学会からのチラシ <input type="checkbox"/> (5)学会誌『日本語教育』 <input type="checkbox"/> (6)友人・知人 <input type="checkbox"/> (7)大学・日本語学校等機関() <input type="checkbox"/> (8)その他()	
4. 当日研修の様子を記録・広報等の使用目的で写真撮影をいたします。 該当するものに☑をつけてください。→研修当日の撮影を <input type="checkbox"/> 承諾する <input type="checkbox"/> 承諾しない	

以上